

平成22年度
商工会事業評価システム
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 4月26日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月25日（予定）

入力年月日	平成22年5月7日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町 商工会
入力担当者職氏名	経営指導員 市川 善一
分析シートの枚数	(5) 枚

群馬県商工会連合会

1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名

(下仁田町)商工会

所在地(群馬県甘楽郡 下仁田町大字)

(2) 団体の概要

①会員数 (439) 名 ②小規模事業者数 (565) 名

③職員数 (7) 名 平成22年 3月31日 現在

(3) 構成役員

①会長 (1) 名 ②副会長 (2) 名 ③理事 (22) 名

④監事 (2) 名

(4) 評価事業期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日

(5) 評価算定者

職名 (経営指導員)

氏名 (市川 善一)

<記入上の注意>

以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績(要因を含む)を記入するにあたってのご注意

(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求められています。

(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェクト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコメント記述してください。

2. 総括的概要

日本経済は、一昨年からのサブプライム問題・リーマンショックなどによる金融危機が世界同時不況を引起し、輸出や生産が大幅に減少し、雇用情勢も急速に悪化、消費の停滞、企業の資金繰りなど厳しい状況にあり、デフレ経済を助長し、今まで経験のない経済状況におかれている。

雇用環境は特に厳しく、製造業を中心とした、非正規雇用者の整理が進み、正社員までに及んでいる状況下であり、他の業種においても総じて、雇用環境は悪化している。そのような状況をふまえ雇用調整助成金等の利用が大幅に増えている。

政府の緊急経済対策の環境に配慮した支援策が効果を上げ、自動車産業や家電製品の販売が少しではあるが回復し、大手企業では受注が増え明るさが見えてきたようだ。

政権再編により“コンクリートから人へ”と政策も変わり、公共事業などの受注が減少し、建設業界などは非常に厳しい状況である。

当町においては、少子高齢化が進み過疎化に歯止めがかからず、消費人口の減少と町外流出が進み、商業においては厳しさは続いている。業種問わず全体に減速感が広がり、下請企業が多い製造業は受注増減の波が、激しく先を読めない状況である。建設業は公共事業の減少が続き、依然厳しい状況である。

このような厳しい中で、商工会として会員企業の人材育成と資質の向上を図るためにパソコン研修会、農商工連携・地域資源活用などの講習会、専門講師派遣など行い、事業展開、経営革新が図られるよう各種講演会を行なった。

また、地域商工業振興のため、商業祭を開催。こんにゃく手作り体験道場を核にした、観光資源の掘起しを積極的に行ない地域振興に努めた。

3. 外的及び内的環境の変化等

外的環境では、一昨年からの米国でのサブプライム問題・リーマンショック不況の影響が依然強く、製造業は受注の減少、商業・サービス業では売上が減少している。近隣の郊外型店などの販売攻勢もあり、消費の流出が続いており、売上減少に歯止めがかからず厳しい状況下にある。

製造業では輸出産業の不振、グローバル社会による、海外企業との競合で受注幅の減少や、在庫調整が響き受注量にも波があり、計画的な事業運営が計れない状況にある。

内的環境は人口の減少、高齢化が進み、事業主の高齢化と後継者難で廃業を余儀なくされる企業があり、会員の減少原因は廃業が殆どである。会員企業の伸び悩みから、各種共済手数料収入も減少傾向になり、収入財源確保が厳しい環境にある。

一昨年から管理運営している、「こんにゃく手作り体験道場」をまちづくりの核にして、観光資源の掘起しを推進し「まちなか案内マップ」「諏訪神社写真集」など作成し、有効利活用を図り商店街振興と観光振興の面から支援を図った。また、観光人材育成セミナーを開催して、人材育成を推進した。

4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

(1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

1. 会員増強・組織強化
2. 商工業活性化対策
3. 金融斡旋
4. 人材育成のための講習会
5. まちなか活性化対策

(2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

1. 会員増強については、事業主の高齢化等が進む中、事業廃止による退会が増えている。そのような状況の中、6件の新規加入があった。
2. 商業活性化対策では商業祭を開催し、地元商店の魅力の掘起しに努めた。また、プレミアム商品券を2回発行し、地元商店や飲食店、サービス業取り込み、利用範囲を広げ、地元への消費拡大を推進した。
3. 経営指導件数は当初の目標を概ね達成できた。
4. 講習会開催件数は目標に届かなかったが、内容・効果は達成できた。
5. 金融斡旋件数は目標を達成できた。
6. パソコン研修会、農商工連携・地域資源活用などの講習会を実施し、事業展開が図れるよう人材育成をした。
7. まちなか活性化として「こんにやく手作り体験道場」を核とした、まちづくりを進め、観光資源の掘起こしとして、まちなか案内マップの作成し誘客を図った。

(3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

1. 商業活性化対策として実施した「商業祭」については、青年部フェスティバルと共催により集客高め、滞在時間も延ばす効果もあり、また、地元高校のイベントへの参加協力もあり、好評を得た。
2. 指導件数については、指導員が配分良く巡回でき目標を達成できた。
3. 講習会開催については、ほぼ予定とおり開催できたが、一部講習会が実施に至らないのがあり、今後は早めにスケジュールを組み実施する必要がある。
4. 金融斡旋については、巡回や窓口指導はもとより、商工会報やチラシなどで制度資金のPRに努め、公庫資金においては利用の上積みが見られた。
5. 青年部・女性部の部員増強については、目標に達成せず、該当者不足もあり増員は厳しい状況である。
6. こんにやく手作り体験道場を核とした、まちづくりを進めるため、まちなか案内マップや諏訪神社写真集など作成し、まちなか見学会など行い、新たな観光資源の掘起こしを進め、おもてなしの心や地元観光資源を見直す機会になった。

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年5月7日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町
入力担当者職氏名	市川 善一
分析シートの枚数	(5)枚中の(1)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	巡回指導
-------	-------------	------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	巡回指導比率、職員の1人あたりの指導件数は昨年の実施数値以上を目標に設置し、指導員の1人あたりの指導件数、窓口指導件数は昨年並みに設置した。	巡回指導により、会員事業所の現状や抱えている問題点などをタイムリーに伺う事ができ、迅速な対応ができる。

事業成果	巡回指導比率は概ね目標値に近い数値を達成できた。会員企業の高齢化と問題の多様性が高まるなか、問題提起への迅速な対応として、エキスパートバンクで専門講師を派遣し、スムーズな事業展開、経営支援が図られた。指導員1人あたりの指導件数は例年並みに推移した。	事業所の問題意識が高まり、商工会へのニーズを把握する手段となる。また、問題の多様性が高まる方向にあるようだ。必要に応じて、エキスパートバンク制度を利用し、専門的指導を提供でき、側面からの経営支援ができた。適切な指導、情報提供をする為には職員の資質の向上が必要不可欠であると感じられた。
------	--	--

付随成果		
------	--	--

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	評価の区別				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">判定 判定</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">継続 継続</td> </tr> </table>	判定 判定	継続 継続		
判定 判定	継続 継続					
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1: 継続</td> <td style="width: 50%;">2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> <td>4: 完了</td> </tr> </table>	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
1: 継続	2: 見直し					
3: 廃止	4: 完了					

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・ 職員の資質向上が必要 ・ 適切な指導が出来る指導体制強化	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	巡回指導、窓口指導を密にすることで、地域に密着した商工会づくりを目指し、きめ細かい経営支援ができる。
-------------------	--

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年5月7日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町
入力担当者職氏名	市川 善一
分析シートの枚数	(5)枚中の(2)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	3. 情報化関連事業	パソコン研修会及び個別指導
-------	------------	---------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）					
成果目標	<p>情報化社会に対応すべく、人材育成事業としてパソコン研修会を実施。会員企業のIT化への推進、事務の合理化を図る。 電子申告・納税システムについて周知する。</p>	<p>パソコン研修会（ワード応用編・インターネット入門）を開催し、ワードの基礎から応用まで文書と表の作成方法やインターネット入門では、ネットを利用する時の、マナーや注意点等を習得し、利活用を図った。電子申告・納税システム、e-taxについて個別指導した。</p>					
事業成果	<p>研修会ではパソコンのワード機能の基本から応用として、文書と表の作成方法を具体的にを行うことで、ワード機能に対する理解が深まった。 インターネット入門では日常ネット利用する時のマナーや注意点、セキュリティ対策など研修することで、ネット利用に対する意識が高まった。 電子申告、納税システム、e-tax実際に操作する事によって、理解が図れた。</p>	<p>パソコンの操作技術やインターネットのシステム、マナーやセキュリティなどについてパソコン利用時の注意への理解が深まり、大変有効な研修が出来たと思われる。 電子申告・納税システム、e-taxなど利用する事により、ネットの利便性を理解して頂けた。</p>					
付随成果							
指標目標達成への貢献度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 低 1 2 3 4 5 高 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 貢献度リストボックス入力 4:高い </div>						
事業実施の結果評価	<p>右の「評価の区別」を用いて判定入力</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 判定 継続 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">1: 継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2: 見直し</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3: 廃止</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4: 完了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
<p>入力担当者（評価者）のコメント欄</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン研修のニーズの把握 ・職員のスキルアップ必要性 </div> <div style="width: 45%;"> <p>(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性</p> </div> </div>							
今後の事業実施により期待される成果	<p>情報化社会でインターネットの活用やパソコン使用は増えており、パソコン研修のニーズはまだ多い。パソコン研修を継続的に行うことにより、利便性を理解して、会員企業の利用者のすそのを広げ、事務の合理化を進めることが出来る。</p>						

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年5月7日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町
入力担当者職氏名	市川 善一
分析シートの枚数	(5)枚中の(3)枚

＜ 評 価 分 析 シ ー ト ＞

実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	プレミアム商品券の発行
-------	----------------	-------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）					
成果目標	景気の低迷による、消費の停滞が進み、郊外型店の攻勢による消費の流出に対応するため、地元で使える、プレミアム商品券（1割お得）を2回発行した。	町からの協力を得て、5月と11月にプレミアム商品券を発行した。1回2000万円で合計4000万円（2回合計）を販売。10%のプレミアム分の発行費用の半分を町が、半分を商工会・事業者が負担して、事業を実施した。					
事業成果	初めての試みであり、プレミアム商品券の魅力を高めるため、商品券の取扱店の勧誘を回り、150余りの事業が賛同し、発行に至った。また、商品券の告知には町行政の協力を得て、全戸にプレミアム商品券チラシも配布して頂いた。結果、発行総額2,000万円の商品券が完売し、地元消費に繋がった。（2回とも）	商工会の商品券としてでなく、町の商品券として幅広く使える商品券の位置付けとして捉え、会員外にも取扱店の募集を行った結果、会員外の賛同者もあり、町と一体となったプレミアム商品券のイメージを発信できお徳感が計られ、1回目では早めに販売完了し、地元消費拡大に繋がった。好評のため、2回目も同額を販売し完売した。					
付随成果							
指標目標達成への貢献度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 低 1 2 3 4 5 高 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 貢献度リストボックス入力 4:高い </div>						
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 完了 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td>1: 継続</td> </tr> <tr> <td>2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> </tr> <tr> <td>4: 完了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
入力担当者（評価者）のコメント欄 <div style="display: flex;"> <div style="width: 50%; padding-right: 10px;"> (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 </div> <div style="width: 50%;"> (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 ・プレミアム分の上乗せ額の負担の確保 </div> </div>							
今後の事業実施により期待される成果	今回のプレミアム商品券の発行は、町の協力があって事業実施に至ったが、プレミアム分の負担割合をどう調整するかが問題であり、そのあたりをクリアして取扱店の負担割合が軽減され、定期的に発行出来れば、地元消費に貢献できるのではないだろうか。						

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年5月7日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町
入力担当者職氏名	市川 善一
分析シートの枚数	(5)枚中の(4)枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	7. 地域活性化関連事業	商業祭の開催
-------	--------------	--------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）					
成果目標	恒例の「商業祭」を開催。商業祭は、町の商業者が一同に介し、商品の展示及び販売イベントをする事により、地元商業者の良さを再認識していただき商業者の意識も高める。	商工会の会報等で会員企業に広く参加を呼び掛け、展示及び販売等を行った。集客イベントで大抽選会、タイムサービスなど行った。また、各グループ等に呼掛け、フリーマーケットも行い幅広い集客効果が上がった。					
事業成果	商業祭を計画、推進していくうちに参加者の意識も高まり、集客イベント等についてもアイデアが提案され、準備から本番、後片付け等積極的に行われたり、また青年部と同時イベントを組むことによって、若手後継者とも一緒に事業実施することで、連帯感が深まった。	青年部、女性部も共催でイベントをしている。青年部は青年部フェスティバルで「熱気球」「ゲーム」「出店」などイベントを実施する中で地元高校と協力を頂き、若者との一体感が生まれ幅広く集客が図れた。当日会場において大抽選会を実施し、会場は大勢の人たちで賑わった。					
付随成果							
指標目標達成への貢献度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 低 1 2 3 4 5 高 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 貢献度リストボックス入力 4:高い </div>						
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">1: 継 続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2: 見直し</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3: 廃 止</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4: 完 了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継 続	2: 見直し	3: 廃 止	4: 完 了
評価の区別							
1: 継 続							
2: 見直し							
3: 廃 止							
4: 完 了							
<p>入力担当者（評価者）のコメント欄</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・出展者の増加対策 ・共催イベントの組み合わせ方 ・斬新的なアイデア（集客イベント）の確立 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 </td> </tr> </table>			(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・出展者の増加対策 ・共催イベントの組み合わせ方 ・斬新的なアイデア（集客イベント）の確立	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性			
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・出展者の増加対策 ・共催イベントの組み合わせ方 ・斬新的なアイデア（集客イベント）の確立	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性						
今後の事業実施により期待される成果	イベントを継続することによって、地元商業者と地域住民とのコミュニケーションの場を広め、郊外型店にはない、地域に密着した商業者の良さを再認識してもらおう良い機会になる。						

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年5月7 日
商工会コード	3821
商工会名	下仁田町
入力担当者職氏名	市川 善一
分析シートの枚数	(5) 枚中の (5) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

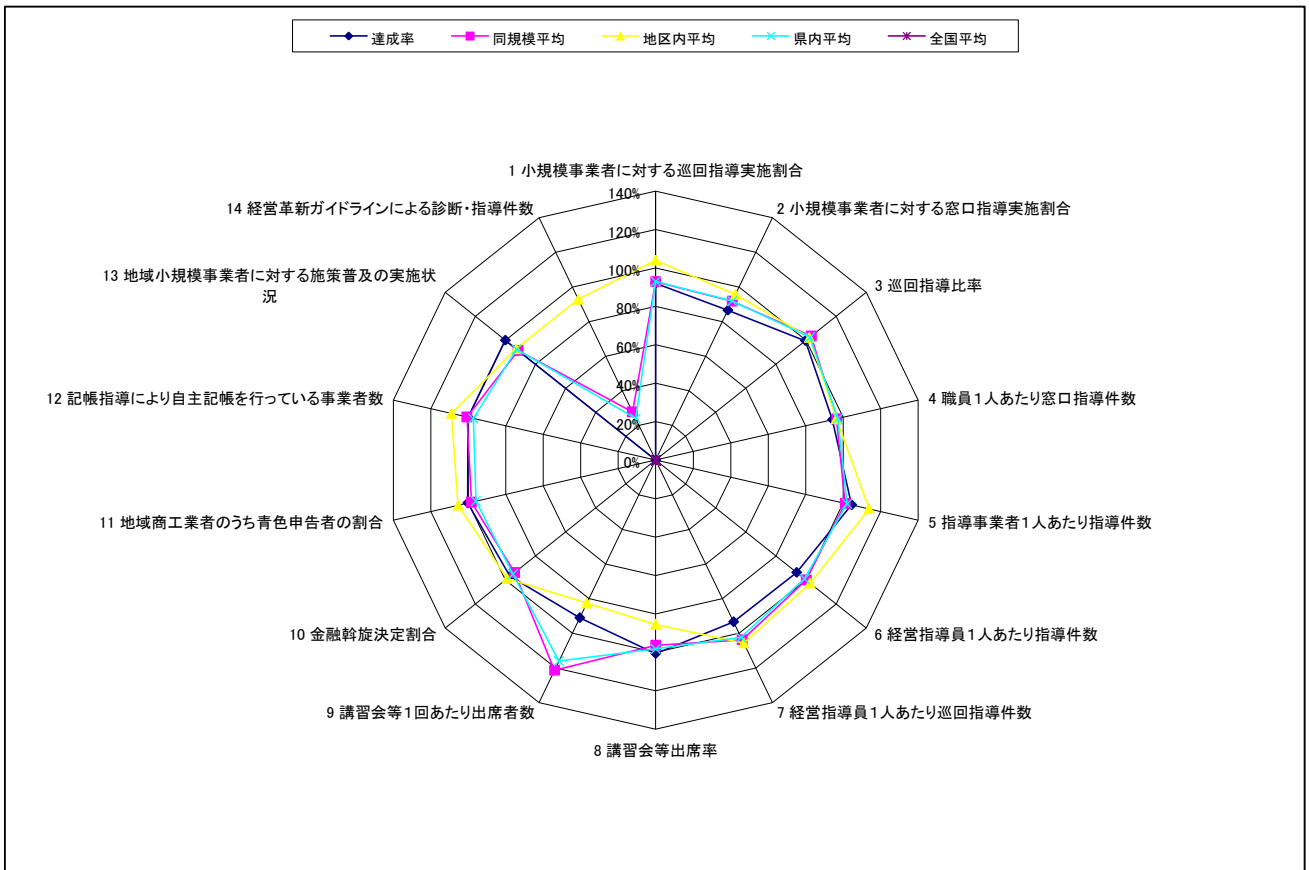
実施事業名	7. 地域活性化関連事業	まちなか活性化対策
-------	--------------	-----------

	アウトカム (何がもたらされたか)	アウトプット (何をしたか)					
成果目標	町からの指定管理を受けて、「こんにやく手作り体験道場」の運営をしているが、この体験道場をまちなかの核として捉え、集客効果を上げるため、施設のPRに努めた。	「こんにやく手作り」に来て、まちなかを散策して、町の良さを知って頂くため、観光資源の掘起こしを進め「手作り体験」を基本にした「まちなか案内マップ」や町の鎮守様である「諏訪神社写真集」を作成して、中心市街地の活性化を推進した。また、まちづくりは人づくりをモットーに観光人材育成セミナーを実施した。					
事業成果	「まちなか案内マップ」「諏訪神社写真集」を作成する事によって、改めてまちなかの観光資源を見直す良い機会になった。諏訪神社においては、貴重な彫刻等を網羅した写真集作ること町人の歴史の奥深さを知ることが出来た。観光人材育成では、まちなかの観光資源を見学し、歴史を伺い、観光資源の魅力を理解できた。	「まちなか案内マップ」や「諏訪神社写真集」を誘客ツールの一つとして、こんにやく手作り体験誘客や町の特産品であるこんにやく・下仁田ネギ・食文化など町外に向けてPR・周知する事ができ、町の活性化に向けた活動が図られた。					
付随成果							
指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高 貢献度リストボックス入力 4:高い						
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th>評価の区別</th></tr> <tr><td>1: 継 続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃 止</td></tr> <tr><td>4: 完 了</td></tr> </table>	評価の区別	1: 継 続	2: 見直し	3: 廃 止	4: 完 了
評価の区別							
1: 継 続							
2: 見直し							
3: 廃 止							
4: 完 了							
<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>判定</th> <th>継続</th> </tr> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">判定</td> <td></td> </tr> </table>			判定	継続	判定		
判定	継続						
判定							
入力担当者 (評価者) のコメント欄 <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・まちなか案内マップを集客ツールとして勧誘に使用 ・マップや写真集でまちなかの魅力を高める</td> <td>(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性</td> </tr> </table>			(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・まちなか案内マップを集客ツールとして勧誘に使用 ・マップや写真集でまちなかの魅力を高める	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性			
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 ・まちなか案内マップを集客ツールとして勧誘に使用 ・マップや写真集でまちなかの魅力を高める	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性						
今後の事業実施により期待される成果	「まちなか案内マップ」や「諏訪神社写真集」を積極的に利用し、こんにやく手作り体験の誘客を図り、町の特産品のPRやまちなかの見所を紹介する事によって、地元商品の消費拡大や中心市街地活性化につなげることが期待できる。						

事業区分 1 経営指導関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
1	1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合	92%	93%	104%	93%	0%	
	2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合	87%	92%	96%	92%	0%	
	3 巡回指導比率	100%	104%	102%	103%	0%	
	4 職員1人あたり窓口指導件数	94%	97%	96%	97%	0%	
	5 指導事業者1人あたり指導件数	105%	101%	114%	102%	0%	
	6 経営指導員1人あたり指導件数	94%	100%	103%	99%	0%	
	7 経営指導員1人あたり巡回指導件数	93%	104%	106%	102%	0%	
	8 講習会等出席率	101%	96%	86%	98%	0%	
	9 講習会等1回あたり出席者数	91%	121%	83%	116%	0%	
	10 金融幹旋決定割合	97%	94%	99%	95%	0%	
	11 地域商工業者のうち青色申告者の割合	100%	98%	105%	96%	0%	
	12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数	100%	101%	109%	97%	0%	
	13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況	100%	91%	93%	93%	0%	
	14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数	0%	28%	93%	24%	0%	
合計	平均	89.5%	94.3%	99.1%	93.4%	0.0%	



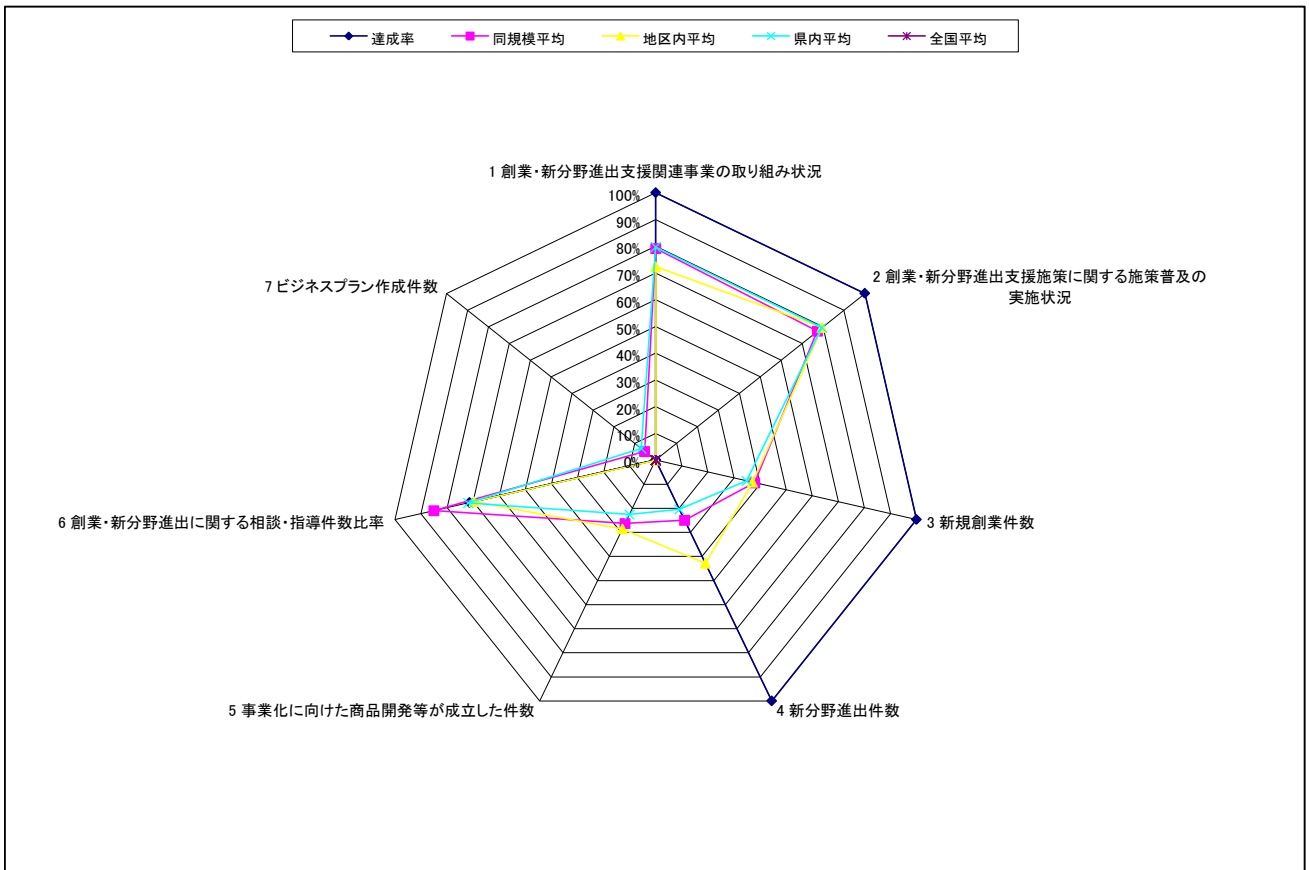
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
2	1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況	100%	79%	72%	80%	0%	
	2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実施状況	100%	77%	80%	79%	0%	
	3 新規創業件数	100%	38%	37%	35%	0%	
	4 新分野進出件数	100%	25%	43%	20%	0%	
	5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数	0%	26%	29%	23%	0%	
	6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率	71%	85%	70%	72%	0%	
	7 ビジネスプラン作成件数	0%	5%	0%	7%	0%	
合計	平均	67.3%	48.0%	47.2%	45.1%	0.0%	



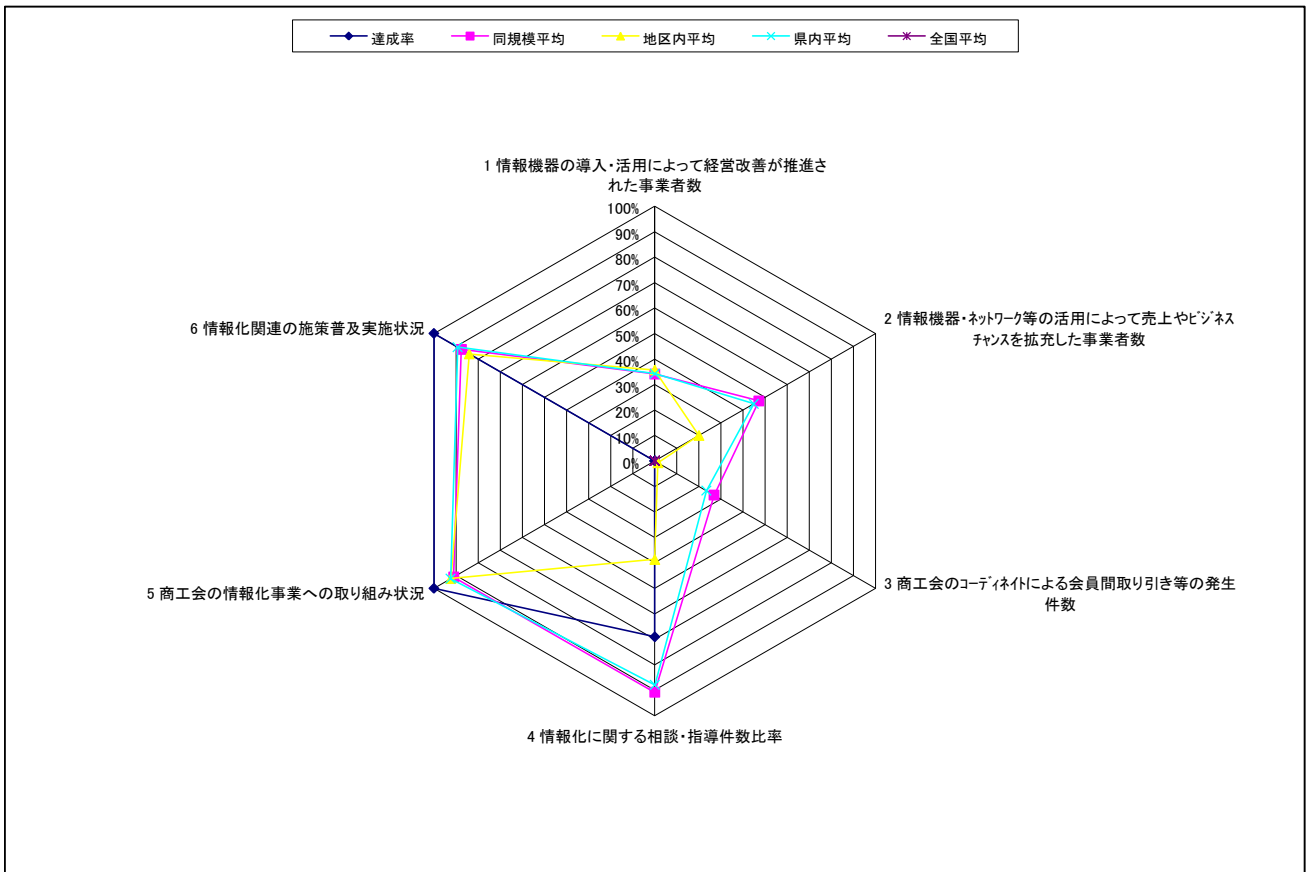
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 3 情報化関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
3	1 情報機器の導入・活用によって経営改善が推進された事業者数	0%	34%	36%	34%	0%	
	2 情報機器・ネットワーク等の活用によって売上やビジネスチャンスを拡充した事業者数	0%	47%	20%	45%	0%	
	3 商工会のコーディネートによる会員間取り引き等の発生件数	0%	27%	1%	23%	0%	
	4 情報化に関する相談・指導件数比率	69%	91%	39%	88%	0%	
	5 商工会の情報化事業への取り組み状況	100%	91%	92%	92%	0%	
	6 情報化関連の施策普及実施状況	100%	88%	84%	89%	0%	
合計	平均	44.8%	63.0%	45.3%	62.0%	0.0%	



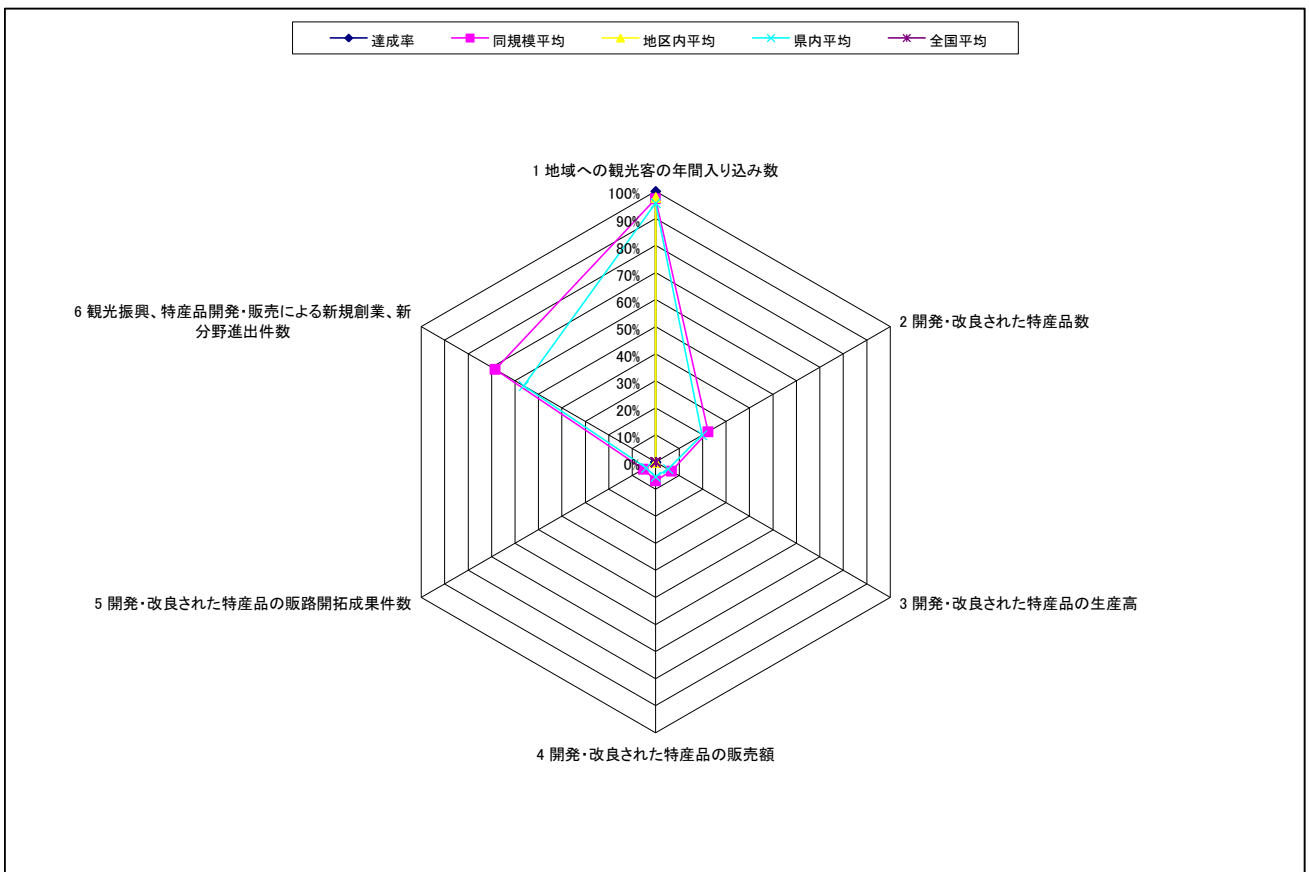
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 5 特産品関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
5	1 地域への観光客の年間入り込み数	100%	97%	98%	96%	0%	
	2 開発・改良された特産品数	0%	22%	0%	20%	0%	
	3 開発・改良された特産品の生産高	0%	7%	0%	5%	0%	
	4 開発・改良された特産品の販売額	0%	7%	0%	5%	0%	
	5 開発・改良された特産品の販路開拓成果件数	0%	5%	0%	4%	0%	
	6 観光振興、特産品開発・販売による新規創業、新分野進出件数	0%	68%	0%	56%	0%	
合計	平均	16.7%	34.5%	16.3%	31.1%	0.0%	



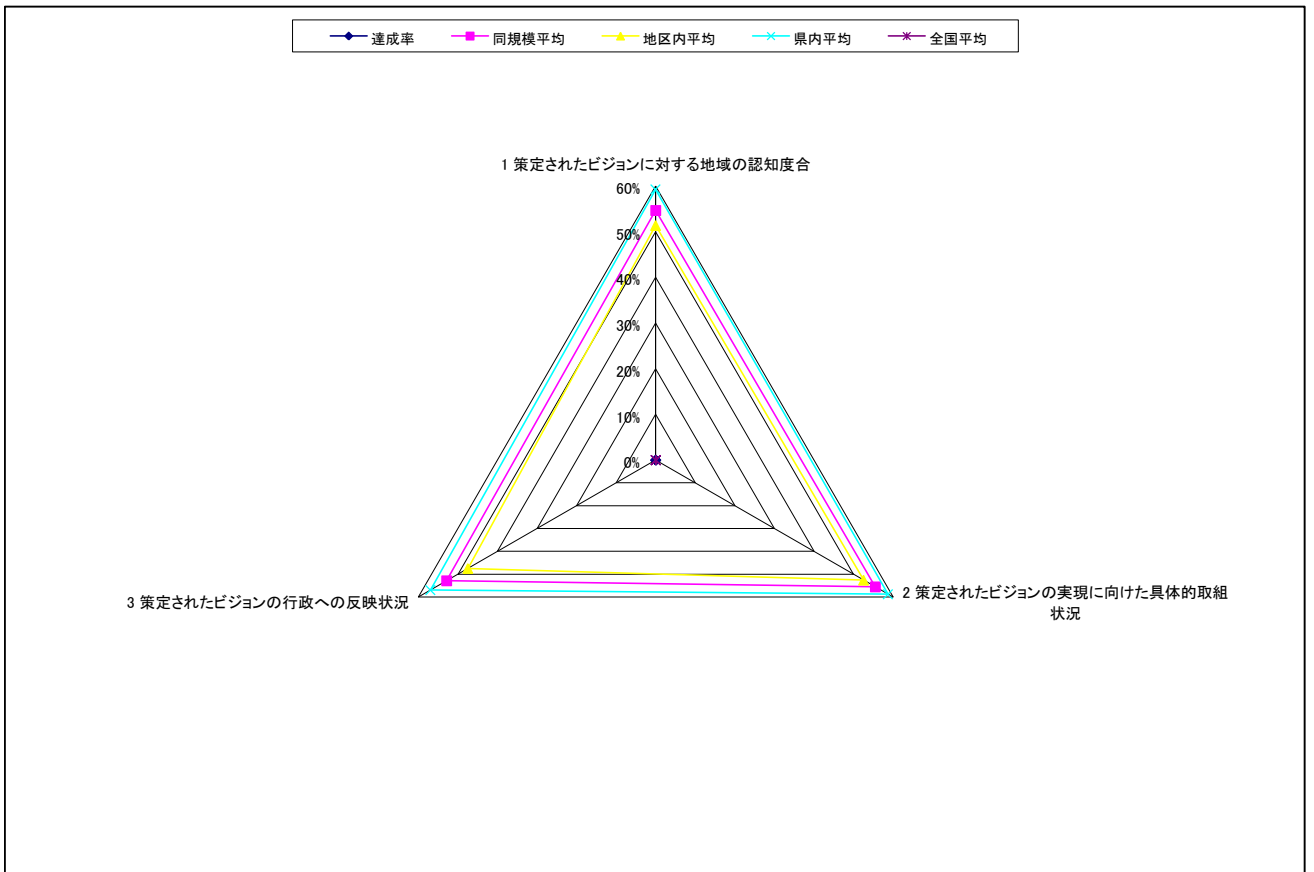
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 6 ビジョン策定関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
6	1 策定されたビジョンに対する地域の認知度合	0%	55%	51%	59%	0%	
	2 策定されたビジョンの実現に向けた具体的取組状況	0%	56%	53%	59%	0%	
	3 策定されたビジョンの行政への反映状況	0%	53%	47%	57%	0%	
合計	平均	0.0%	54.3%	50.5%	58.3%	0.0%	



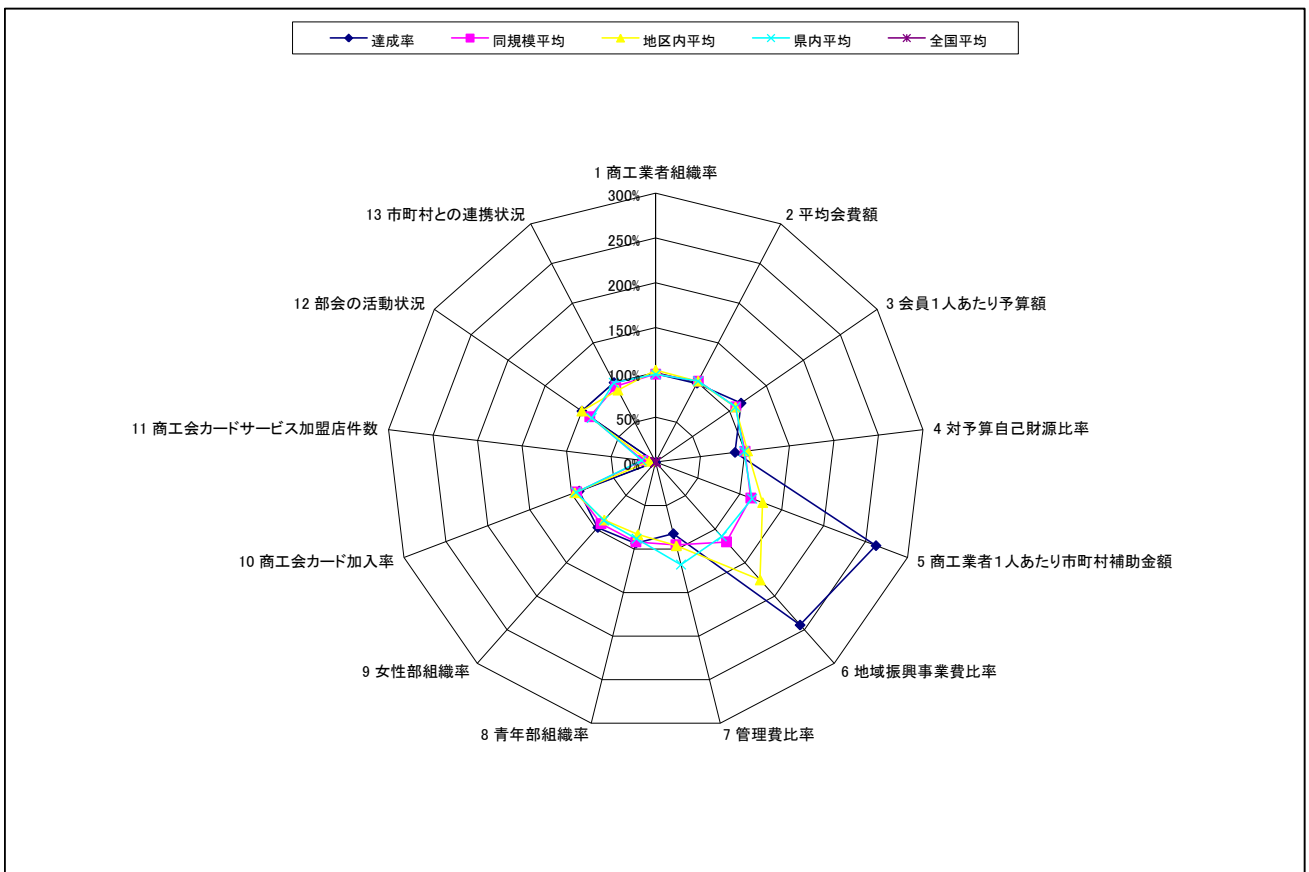
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 8 組織基盤強化関連事業

3821 下仁田町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
8	1 商工業者組織率	99%	98%	103%	98%	0%	
	2 平均会費額	99%	102%	102%	102%	0%	
	3 会員1人あたり予算額	116%	108%	108%	108%	0%	
	4 対予算自己財源比率	89%	100%	103%	99%	0%	
	5 商工業者1人あたり市町村補助金額	263%	113%	127%	115%	0%	
	6 地域振興事業費比率	243%	119%	176%	111%	0%	
	7 管理費比率	82%	95%	96%	118%	0%	
	8 青年部組織率	93%	92%	83%	88%	0%	
	9 女性部組織率	97%	92%	86%	87%	0%	
	10 商工会カード加入率	91%	94%	96%	95%	0%	
	11 商工会カードサービス加盟店件数	0%	14%	7%	16%	0%	
	12 部会の活動状況	100%	89%	100%	87%	0%	
	13 市町村との連携状況	100%	95%	90%	100%	0%	
合計	平均	113.2%	93.2%	98.3%	94.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください
